

(総務委員会)29年度事業計画

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

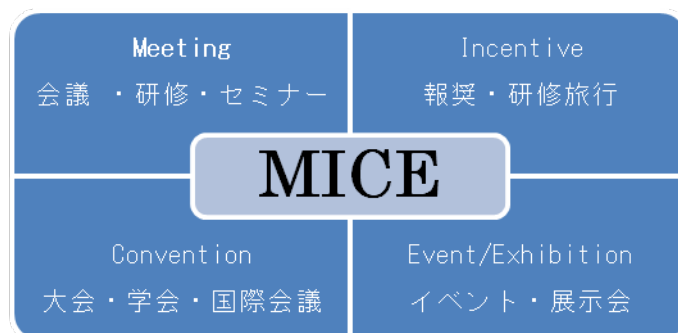
1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道、リニア・エクスプレス中央新幹線「中津川駅」からのアクセス整備。
5. 「MICE」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition)による誘客促進。
6. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
7. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、エコツーリズムなどとの連携。
8. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
9. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。
10. 下呂交流会館コンベンション活用。
11. JR高山本線強化促進のための諸活動。
12. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合等関係団体との連携の強化。
13. 県及び近隣観光協会・商工会、市内観光協会など関係団体との連携。
14. 日本三名泉有馬・草津と韓国儒城・台湾台中との交流、情報交換。
15. 下呂温泉まつりの共催。
16. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催。
17. 日本文化の継承を図り、芸妓芸能の育成。
18. 防犯活動の推進。
19. 観光関係功労者、優良従業員の表彰。
20. 会費、負担金の検討。
21. 下呂市観光協会連絡協議会の事業。
22. 下呂市DMO委員会と連携した事業促進。
23. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業。
24. 下呂温泉観光協会だよりの発行。
25. 会員の拡充を計る。

## (誘致宣伝委員会)29年事業計画

昨年度は、官民一体となって実施をしてきましたマーケティング・キャラバン、魅力再発見・着地型観光への取り組み、広告宣伝事業、観光バス助成金等により消費低迷やバス事情等々の大変厳しい時代の中、宿泊者100万人を達成できた年となりました。

誘致宣伝委員会では、この人数をひとりでも上回れるように気を引き締めて、日々変化していく観光市場の動向調査及びセールス活動を精力的に取り組んで参ります。

1. 旅行形態についての調査、分析、マーケティングを継続
2. 全国各地へのセールス・マーケティングキャラバンの実施
3. 中部運輸局・岐阜県・岐阜県観光連盟との連携をより一層強化
4. JR東海はじめ旅行業者との連携
5. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
6. インターネットによる情報発信事業
7. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市観光協会連絡協議会、下呂市観光客特別誘致対策協議会との連携
8. MICE(マイス)による観光客誘致の促進(下呂交流会館、下呂市コンベンションビューローとの連携)
9. インバウンド事業の促進
10. ドライブ旅行の誘致対策
11. 着地型旅行商品の積極的な取り組み
12. SNSを活用した情報発信



企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

#### (まちづくり委員会) 29 年度事業計画

平成 27 年に素肌美人プロジェクト会議（外湯）を開き、太田広先生に“下呂にしかないもの、下呂に  
来なければ体験できないもの”は何かをしっかりと勉強させていただきました。本年度も市当局、議会と  
連携しながら下呂温泉街のまちづくりを進めて参ります。

本年度は無電柱化を目指し、早期実現のため先進地の視察や勉強会を開き、歩いて楽しいまち、SNS で  
下呂温泉を多く発信して頂ける仕掛け及び、二次交通の手段としてレンタサイクル事業を進めて参りたい  
と思います。前年に引き続き、下呂温泉街にマッチする素材（オブジェ）を立案実施していく予定で  
す。

また、環境整備事業として植樹・清掃活動などを行い、魅力ある地づくりを目指し、おもてなしの心  
の向上を図って参ります。新しい時代の温泉地として、街並整備、名所作りは重要な要素の一つです。  
美しい街は訪れたお客様への最大の「おもてなし」と考えます。行政、各種団体の連携を図り下記の事  
業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進していきます。

1. まちづくり、まち歩きの推進(重点項目:無電柱化)及びレンタサイクル事業の実施（電動アシスト  
自転車の導入）
2. 花木の植栽と定期的な管理
3. 飛驒川・国道 4 1 号線クリーン大作戦の実施
4. 四季を通しての名所作りの推進
5. 交流研修委員会との協力

#### (交流研修委員会) 29 年度事業計画

お越し頂いたお客様のご満足度を上げていくことが重要であると考えます。そこで、魅力ある温泉地  
づくり、街づくり等の為に研修事業を実施したい。

また、市内の観光資源、周辺観光地などお客様への細やかなご案内ができるよう、協会員(接客担当者)  
などを対象とした視察研修も実施したい。事業については「まちづくり委員会」と連携して実施したい。

1. 温泉地づくり、街づくり等の研修を開催
2. 市内外の観光資源の視察などの「おもてなし研修会」の開催

## (おもてなし委員会) 29 年度事業計画

おもてなし委員会では観光客、地元の皆さんに下呂の楽しさ、観光客と地元の皆さんのふれあいを大切に数多くの皆さんに下呂温泉の良さ、楽しさ、心が温まる事業をし、その中で、更に発展ができるように、改善を重ねより良い事業展開をしていきたいと思ひます。また、多くの観光客安全を考えながら楽しい運営をしていきたいと思ひます。

1. 下呂温泉いでゆ夜市  
7月22日、29日、8月4日、5日、12日、19日、26日（各土曜日、8/4のみ金曜日）  
計7回開催予定
2. 歌塚供養祭 8月4日（金）
3. 歌塚歌謡祭 8月4日（金）
4. キャンドルイルミネーション 12月24日（日）
5. 温泉街の各種イベントへの協力

## (青年部) 29 年度事業計画

アジアを中心とした外国人観光客の急激な変動、未だ先の見えない耐震補強や民泊など多くの問題が山積する中ではあります、インバウンドを軸として、多方面から観光というジャンルに大きな関心が向けられている昨今、観光の街「下呂」においてもこれは一つのチャンスではないかと感じております。

観光協会青年部は観光協会が推進し、全国に先駆けて成功を収めている日本版DMOによるまちづくりを支えていく存在であらねばなりません。部員減少傾向の局面ではあります、継続持続性のある青年部のあり方を模索しつつ、青年部活動の選択と集中、青年部ならではの行動力とアイデアで効率的・効果的な活動を行っていきたくと思ひます。

1. 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバン
3. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究・花木の植栽や消毒、肥料やり
4. 下呂温泉花火ミュージカル冬公演実行委員会への参画
5. 部員拡大